



岡山県合唱連盟機関紙

トウッティ 第61号

発行責任者：岡山県合唱連盟事務局長 山田 威夫
 事務局：岡山市津島桑の木町 2-2-H404
 TEL: 086-214-6523 FAX: 086-214-6559
 電話受付は原則として土曜 10:00~16:00
 あとは、留守電対応となります。

<http://www.geocities.jp/jcaokayamahome/index.htm>

編集者：岡山県合唱連盟事務局次長 菅尾 多美
 E-mail: tamicchi@palette.plala.or.jp

おかあさん大会を盛り上げるために

岡山県合唱連盟副理事長

矢内 淑子

第27回全日本おかあさんコーラス全国大会では、個性溢れるそれぞれの団の演奏を、心から楽しく聴かせていただきました。舞台では、入場から退場まで、見せて、聴かせて、感動させる姿が、会場に満ち溢れていました。素晴らしい笑顔のおかあさん達が、日ごろの成果を全身で表現されました。「コーラスをする女性って、なんて素敵」と、改めて強く思いました。

岡山県合唱連盟では、このところ、おかあさん大会に参加する団体が徐々に低調になっている中、上月理事長の下で、どうしたら傘下団体を増やし、合唱の楽しさを感じてもらえるか等について、おかあさん団体の理事で検討委員会を持ち、話し合っていたときでしたので、ますます熱のこもった話し合いをすることができました。さらに、その成果をもって、おかあさん部門 24 団体の代表に集まっていただき、団の現状を話していただくとともに、今後のおかあさん部門をよりよくするためにはどうしたらよいか、そのためには、一番大きな行事でもある「おかあさん大会」を、盛り上げるための取り組みをどうするか、お互いに意見交換をしました。事務局からは、岡山大会の現状、大会の仕組み、選考方法、選考基準の変更点について分かりやすい説明がありました。一度でも全国大会に出場した団体は、いろいろな方々や会場との巡り会いが、その後の団の運営に非常に役に立っているようです。ですが、多くの団では合唱団の高齢化のほか、大会のマンネリ化のために出場を断念していることや、コンクール化することで、より難しい曲を選択することになり、結局、面白くなっていない等があげられました。まずは、おかあさん大会はコンクールではなく、出場者自身が楽しむ場であるということを共通理解しました。岡山市以外の会場での開催、ゲスト・イベントとの交流、非加盟団体への呼びかけ、県合唱連盟主催で開催される講習会の活用、行事で歌える愛唱歌集の作成、ひまわり賞、朝日賞以外に特別賞として、全団体を通じて団員がかがやき、聴衆に感銘を与えた団に送られる「かがやき賞」の設置、年数回の代表者会議の開催など発展的な話し合いがなされました。最後に、これを機会に、今後も横のつながりを大切にして、おかあさん大会を楽しめる会にしていくとともに、おかあさん部門でどんどん企画を提案していくことを確認して終了しました。

春季合唱講習会のお誘い

やさしいヴォイストレーニングⅧ

大志万 明子先生

☆ 5月14日(土) 14:00~17:00

会場：鏡野町ペスタロッジ館

☆ 5月15日(日) 10:00~15:30

会場：山陽女子中学校・高等学校上代記念館

おなじみの大志万先生の講習会です。先生の講習会はとっても楽しくて、抜き型でクッキーを抜くように歌う姿勢を作っていくので誰でもいい声になります。そして、自分で練習できるすばらしい方法です。

リピーターの方も初めての方も、たくさんのご参加をお待ちしています！

いい声できもちよく歌いましょう♪

どんな講習会にしたいですか？

秋季合唱講習会では、作曲家や合唱指揮の講師を招いて合唱指導をしていただいています。「この先生の指導で勉強したい！」という希望があれば事務局までお知らせください。いくつかのグループでまとめて希望を出していただければ、赤字覚悟で招聘に努力いたします。

上月理事長からは「自分たちの勉強に連盟を利用するぐらいの心意気で！」とおっしゃっていただいています。ぜひ、ご検討を！

岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテスト開催!

第12回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテストが、2月6日(日)、早島町町民総合会館ゆるびの舎で行われました。審査員には、末廣正巳 山口県合唱連盟理事長、宮武恭子 岡山県教育庁指導課指導主事、近藤安个 ノートルダム清心女子大学教授、上月明理事長、矢内淑子副理事長をお迎えしました。出場団体は73団体で、小学生の団体が初出場しました。最も出場団体の多かった同声部門は、ハイレベルな演奏が多く接戦となりました。

タイムオーバーになってしまった団体の皆様には、審査の対象にならないので残念でした。来年は気を付けてくださいね。朝早くから集合してコンテストを支えてくださった運営スタッフのみなさん、ありがとうございました。(事務局 筈尾 多美)

「グランプリ」を受賞して

総社西中学校 Melody

今でも夢みたいです!!!! まさか自分達がグランプリを頂けるなんて思ってもいませんでした。発表の時、代表として残った8人で手をつないで、「グランプリ! グランプリ!」と祈っていたけど、内心は「そんなこと。まさかね。」と思っていたので、私達のグループ名が呼ばれたときには一瞬きょとんとしてしまいました。

ではここでみんなが書いた感想から↓↓

- ・ この曲大好き♪ Y.I
- ・ グランプリもらって、後になって涙出てきた。

この曲歌えてしあわせ～ T.O

- ・ 歌えてよかった。ステージ楽しかった。 M.M 他

今回グランプリを頂いて、少しだけ自信がつかえました。色々可能性も見えてきました。これからも美しい色目指して頑張りたいです。☆☆

では先生から一言↓↓

「ありがとうございました。」部長が表彰を受けて自分の席に戻るまで、会場の皆様の温かい拍手が鳴り続けました。そのことが何よりもうれしく励まされました。また、練習好きな子どもたちとがんばります。

(トマス・モーリー作曲「Spring-time mantleth every bough」を演奏)



「本当によかったよ。」と声をかけてくださった末廣先生とみんなで記念撮影。ピース



総社高等学校音楽部

「じょんがる総高」

僕たちが「津軽じょんがら節」に出会ったのは今年の10月である。何か男声合唱のできる曲は…と思い、おもいきって楽譜を購入したのがすべての始まりだった。今まで日本民謡に挑戦したことがなかったので、リズムや日本独特の和音の作り、歌い方に苦労した。周りの人の協力や、持ち前のやる気と頑張りで何とか曲が形となって、少しずつステージでこの曲を披露してきた。しかし、ステージを踏んでも納得できる演奏ができないままで、何度練習しても上達している気がしなかった。このアンコンでは本当に不安がいっぱいだった。本番直前まで念入りに音合わせやリズムの確認をして、本番に挑んだ。結果、念願のゴールド金賞を受賞することができた。

それでも、まだまだ課題は多く残っている。これで妥協せず、今後も「総高のおと」を追及し、更なる飛躍を目指していきたい。今後とも「総高うた部」に、ご期待、応援の方をよろしく願いいたします。(松下 耕 作曲「津軽じょんがら節」を演奏)

☆ ソウルフルなすばらしい演奏に感動しました。みんないい顔をして歌っていてこちらも晴れ晴れとした気分になりました。そういうわけで特別に原稿をお願いしました。

第16回松江ブラバ室内合唱コンクール審査を終えて

副理事長 中村 芳弘

去年に引き続き、2月13日(日)松江ブラバ室内合唱コンクールの審査を行った。58号のTuttiでも紹介したが、今一度コンクールの部門等を最初に記述します。

参加部門は中学(16団体)・女声(7団体)・男声(3団体)・混声(14団体)4部門40団体の参加で行われた。人数制限は8名以上20名以内、演奏時間は、中学部門8分以内、その他の部門は10分以内である。審査員は、作曲家の尾形敏幸氏、島根大学から河添達也・藤井浩基の両氏(両氏とも教育学部助教授)、声楽家の藤井あや氏、そして私中村の5名で行った。審査方法は新增沢方式で、審査員はそれぞれの部門を同点なしで1位から最下位まで順位をつけ、その結果は中学部門は上位50%、その他の部門はすべて公開される。つまり、どの審査員が

どの団体に何位をつけたかがすべてオープンで公表される。まさに審査員が審査される気分になってしまう。また、全団体にそれぞれ講評を記入することになっており、朝10時から18時まで、少しの休憩時間と30分の昼食という忙しいスケジュールであった。入賞は、それぞれの部門ごと原則として金銀銅が1団体ずつ、全体を通して最優秀グランプリが1団体、優秀賞が2団体である。今回男声部門では、金なしの銀が1団体のみの入賞でレベルによっては厳しい審査のコンクールである。

(順位表)

	尾形	河添	中村	藤井あ	藤井浩	総合順位	
1	うたがき	うたがき	うたがき	コロシヨコラ	うたがき	うたがき	金
2	コロシヨコラ	Madre	コロシヨコラ	うたがき	RYU	コロシヨコラ	銀
3	FOUTN	コロシヨコラ	Madre	avanti	Madre	Madre	銅
4	浜高混声A	FOUTN	東☆星	東☆星	コロシヨコラ	FOUTN	銅
5	avanti	開星中高	FOUTN	FOUTN	avanti	avanti	
6	Caelum	avanti	開星中高	大社高	Caelum	東☆星	
7	YAMACHORUS	YAMACHORUS	Caelum	Madre	大社高	開星中高	
8	Madre	浜高混声A	avanti	浜高混声B	開星中高	浜高混声A	
9	東☆星	RYU	浜高混声B	RYU	FOUTN	Caelum	
10	浜高混声B	東☆星	浜高混声A	浜高混声A	東☆星	YAMACHORUS	
11	大社高	Caelum	盲学校	開星中高	YAMACHORUS	浜高混声B	
12	開星中高	盲学校	YAMACHORUS	YAMACHORUS	浜高混声A	RYU	
13	盲学校	浜高混声B	RYU	Caelum	浜高混声B	大社高	
14	RYU	大社高	大社高	盲学校	盲学校	盲学校	

さて、公表された混声部門の審査表を紙面をお借りし見ていただきたい。今回はコンクールに参加されている団体の皆さんに、順位を決める上で審査の立場からどういったところがポイントになるのか私なりに感じたことを述べてみたい。

- ① 順位をつけていく方法は、各部門最初の団体の演奏を基準とし、その比較で点数をつけていくようである。(自分もそうだが)しかし演奏の順番に有利不利はない。
 - ・ よくコンクールで演奏順が1番になると不利に感じてしまうのだが、金賞の合唱団のうたがき(広島県の合唱団「ある」のメンバー)は混声合唱1番の出演であった。
- ② 外国語の曲を選曲した場合は、発音と発声に注意しなければならない。特に声楽家の審査員は厳しい評価をしてしまう。
 - ・ 審査員声楽家の藤井氏は、私には初めての外国語であんなものだろうと思った合唱団に、発音に対して厳しい評価をしていた。
- ③ 基本的に楽譜に忠実であることが望ましいのかもしれない。
 - ・ へたにフレーズをこねくり上げて満足している合唱団があったが、楽譜にないことをやり過ぎると、作曲家は良い評価をしない。作曲家の尾形氏は、難易度の高い曲を演奏しても楽譜の音になっていないと厳しい評価をしていた。演奏の楽譜は審査員の手元にあるので余りにも違うテンポ設定で演奏するのも減点になると思って良い。
- ④ 最終的に審査順位は審査員それぞれの趣味である。
 - ・ RYU(山口県の団体)の順位を見ていただきたい。これほど順位がばらつくのもめずらしい。私はなぜ最下位をつけたかという、混声4部12名の演奏で女性が少なく、ソプラノとアルトに男性が入りファルセットで歌っていたのだが、演奏が進むにつれてその声が生理的に受け付けなくなってしまったからである。曲目は千原英喜作曲の5つの聖母賛歌からアヴェ・マリアであった。審査員によってどちらを高い評価にするか、どちらがマイナスが多いかなど、同じ部門で数多く演奏を聴いていき10団体を過ぎた頃には本当に同点なしの順位をつけるのは大変である。
- ⑤ ホールの響きをつかんで、その余韻の間を感じている合唱団はうまい。
 - ・ 同じ会場で、同じ条件でコンクールを行っています。よく響いたと演奏後満足している合唱団があるが、より良い響きを残している団体は聴けず比較ができないのに審査結果を見てつい文句を言ってしまう。(この心当りは自分にもあります。)

コンクールに参加すると、同じ部門の前後の演奏が聞けません。また、特に自分の合唱団の演奏がホール客席にどのように聞こえているのかが分かりません。客観的な立場で自分たちの演奏を評価することが大切だと思います。コンクールの終了後、松江のスタッフの皆さんと夜遅くまで、合唱の話で盛り上がりました。松江のこのコンクール同様、岡山市・岡山県が「岡山県アンサンブルコンテスト」の主催になる日が来ないかと思いつつ、快い疲れで合唱浸けの一日が終わりました。

全国大会に行ってきました!

女声合唱団 萌え木 渡辺 才子

平成 16 年 11 月 20 日。仕事帰りに電車で駆け込み、松山に向かいました。全日本合唱コンクール・全国大会のためです。残念ながら、出演するためではなく、勉強するためなのですが…。

演奏はどの団体もすばらしく(もちろんですね)、音楽についても合唱についても未熟な私がそれについてコメントすることは到底無理ですので、感じたことを三つ書きたいと思います。

第一に、ステージにのっている一人ひとりがソリストのごとく曲を自分のものにし、歌われているということ。曲にこめた思いとパワーに圧倒されました。

次に、演奏される曲が外国語、特にミサ曲が多いということ。(プログラムをご覧になると納得されると思いますが。)一日中、教会の中において、心が清められているような厳かな響きを堪能することができました。

最後に、中国地方、特に岡山県のコンクールでの輝きが弱いということ…。(もちろん、コンクールが全てではありませんし、活発に活動されている方もたくさんいらっしゃいますが。)岡山に住む私は、県全体の合唱の質の向上や、さらには全国をリードしていくような前衛的な合唱を期待してしまうのです。

大変、収穫の多い全国大会でしたが、報告というより、個人的な感想を述べるだけに留まってしまい、申し訳ありません…。一度、コンクール会場に足を運んでみたり、せっかくだから出場してみたりするのも、よい勉強になると思います。

2005 年は始まったばかり。今年も、岡山の各地に、全国に、さらには世界に、美しく、またエネルギーあふれる歌声を響かせていきましょう!!

びよびよ ひよご通信

平成 17 年度予定行事

- 4/17 (日) 定例総会 (県立図書館 (2F) 多目的ホール)
- 5/14 (土) 春期合唱講習会 (鏡野町ペスタロッツ館)
- 15 (日) 春期合唱講習会 (山陽女子中学校・高等学校上代記念館)
- 6/12 (日) 第 58 回岡山県合唱フェスティバル (岡山シンフォニーホール)
- 7/ 3 (日) 第 28 回全日本おかせんコーラス中国支部岡山大会 (岡山市立市民文化ホール)
- 8/21 (日) 第 58 回岡山県合唱コンクール (倉敷市玉島文化センター)

第 12 回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテスト 各部門優秀賞

☆受賞の皆様、おめでとうございます。

重唱の部	山陽女子高等学校合唱部
ジュニアの部	Melody
同声の部	レディースアンサンブル
混声の部	ご機嫌うるわしゅう



ハーモニーの購読ご協力
お願いいたします。

ハーモニーの購読につきましては、加盟各合唱団の皆様には大変お世話になっています。

ハーモニーは全日本合唱連盟の機関誌で、合唱の情報を提供する専門誌であるばかりでなく、その売上収入は、合唱連盟の財政基盤を支える重要なものとなっています。合唱連盟の活動は、営利ではありません。山陽放送さんが私たちの活動を60年近く支援してくださったように、私たちも全日本合唱連盟の活動を支援していきませんか?

購入は所属合唱団の代表者を通じて募集しています。直接申込みの場合は事務局までご連絡ください。

コンサートのごあんない …みんなできてね!

第 23 回 定期演奏会 倉敷コール・クライネ

- と き 5月8日(日) 開演 14:00
 ところ 倉敷市民会館
 曲 目 I 「MESSE in Es op.155」
 II 「サウンド オブ ミュージック」より
 III 「海に寄せる歌」より 倉敷男声合唱団
 IV 「少女のいる画集」
 入場料 1,010円
 問い合わせ 086-422-7604 (吉田)

編集後記 (ˆoˆ)

次号の発行: 6月上旬 ⇒ 原稿締め切り: 4月末

すばらしい原稿をありがとうございました。読み応えのあるTuttiができてうれしいです。

投稿のあて先は編集局へ!

〒703-8204

岡山市雄町487-1 筈尾 多美

E-mail: tamicchi@palette.plala.or.jp

FAX: 086-279-8211